

一般区分・特別エリア区分共通
No.1(共通)

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要

分野	演劇	種目	演劇
応募区分	一般区分		
複数応募の有無	無	応募総企画数	
複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要

ふりがな	ユウゲンガイシャ エンゲキジンボウケンシャ			
制作団体名	有限会社 演劇人冒険舎			
代表者職・氏名	代表取締役 内藤美佐子		団体ウェブサイトURL	
			http://www.bhoukensha.co.jp	
制作団体所在地	〒	454-0849	最寄駅(バス停)	荒子(小塚町)
	愛知県名古屋市中川区小塚町78番地			
制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です			
ふりがな	エンゲキジンボウケンシャ			
公演団体名	演劇人冒険舎			
代表者職・氏名	代表 内藤美佐子		団体ウェブサイトURL	
			http://www.bhoukensha.co.jp	
公演団体所在地	〒	454-0849	最寄駅(バス停)	荒子(小塚町)
	愛知県名古屋市中川区小塚町78番地			
制作団体 設立年月	昭和59年 2月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 内藤美佐子		〈団体構成員〉 常勤社員 2名 非常勤嘱託員 10名 〈加入条件〉 団体の理念・目的に賛同する者。	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く		本事業担当者名	内藤 美佐子
経理処理等の 監査担当の有無	有		経理担当者	道家 一子
本応募にかかる連絡先	メールアドレス			電話番号
	info@bhoukensha.co.jp			0523048803

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	演劇人冒険舎は、昭和56年「生きる勇気を持つ」「人を愛する」をテーマに「創作劇・ミュージカル・古典から現代の名作」を柱に年間2～3回の一般公演を目標にし、活動を開始しました。 ・昭和56年 演劇人冒険舎として劇団創立。年間2～3回の一般公演を実施。 ・昭和57年 劇団内に「学校公演班」を設置し小学校を中心に巡回公演を開始。並行して一般公演した作品の中から青少年向けのミュージカル作品を中学校・高等学校で巡演。 ・昭和59年 「学校公演班」を法人化、有限会社 演劇人冒険舎として活動を開始。 現在はおもに、小学校を中心にした巡回公演、全国のおやこ劇場・子ども劇場での公演、公共施設での公演、ワークショップ、学芸会指導等、子ども向けイベントなどに積極的に参加を続けています。 受賞歴 ・平成2年 名古屋演劇ペンクラブ奨励賞「地獄のマリオネット」 ・平成12年 名古屋市芸術奨励賞〈演劇人冒険舎〉	
	学校等における公演実績	学校の体育館においても、劇場での公演と変わらないクオリティを維持し学校公演ならではの工夫をしながら演劇の楽しさを知ってもらえる公演を続けています。また、配慮を必要とする子どもたちとのかかわりを大切にし、先生方と相談しながら、みんなで一緒に楽しめるよう、それぞれに合った工夫をするよう心がけています。 また、全国のおやこ劇場などでも積極的に公演を行っています。 昭和56年より学校公演実績あり 公演実績(令和3年以降) 「ショウター一緒にサッカーやろうよ」 50公演 107ステージ 「あらしのよるに」 38公演 57ステージ 「南の丘の大きな切りかぶ」 19公演 40ステージ 「となりのたぬき」 13公演 17ステージ	
	特別支援学校等における公演実績	豊田市立豊田特別支援学校 「南の丘の大きな切りかぶ」 名古屋市立西特別支援学校 「ごんちゃんの贈り物」 見晴台学園(ワークショップのみ)	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料		有	
	※公開資料有の場合URL		https://youtu.be/DbtRf2Wsha4	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード		ID:	
		PW:		

一般区分・特別エリア区分共通

No.2(実演芸術)

別添	なし															
【公演団体名											演劇人冒険舎				】	
本公演・ワークショップの内容	対象	小学生(低学年)			○		小学生(中学年)			○						
		小学生(高学年)			○		中学生			○						
	企画名	劇っておもしろい！「南の丘の大きな切りかぶ」鑑賞と驚きのバックステージ体験														
	企画のねらい	「南の丘の大きな切りかぶ」は舞台の面白さを最大限に追求した作品です。見慣れた学校の体育館がいつもと全く違った空間になることの驚き、体育館全体を使って繰り広げられる不思議なことの数々、そして気付かされる一番大切なこと。子どもたちは自分の事に置き換えて感動し、泣いたり笑ったり、チクッと心を痛めたりしながら登場人物と同じように成長していきます。この楽しくて不思議な体験と、この空間で見つけた大切なものは明日を生きる子どもたちの心の糧となり、道標になります。この作品のバックステージを体験することで演劇やスタッフへの興味が高まり、次世代を担う演劇人を育成する第一歩になることを目的とします。さらに身体を使った事前のワークショップ体験はコミュニケーション能力や創造力を高める方向へも導きます。														
	演目概要・演目選択理由	〈あらすじ〉 「約束を守らないお父さんや、妹ばかりかわいがるお母さんなんて大嫌い」考えた結果自分が「いない子」だという結論に達した小学4年生のアーちゃんはお家を飛び出し、南の丘を目指します。そこは、ヘンテコリンな魔法しか使えない魔女のおばさんの家。ところがおばさんは郵便屋さんともめごとの真っ最中です。新米の郵便屋さんは、おばさんが魔女だということが信じられないのです。アーちゃんは、おばさんや郵便屋さんで過ごすうちに自分のいけなかったところに気づいていきます。自分の本当の気持ちを認めたアーちゃんは素直になることの大切さを知り、自ら家へ帰ってちゃんとあやまることを約束します。おばさんが教えてくれた素敵な魔法の呪文を携えてアーちゃんと郵便屋さんは大切な日常へ帰って行くのでした。 〈演目選択理由〉 少女は嘘をつくことで自分もまわりも傷つき心が痛いことを知ります。新米の郵便屋さんは二人に巻き込まれ、心を痛めたり、不思議を抱えながらも優しく寄り添い続けます。楽しく自分自身と比較しながら鑑賞するうちに自分の気持ちに素直になることの大切さに気づきます。舞台美術と演者の動きにより演劇の面白さ、不思議感、想像力が高まります。演劇を観る楽しさ、喜びにあふれたこの作品を観ることは、子どもたちが自分の心を見つめ大切なものを見極める力となり、将来の演劇観客の育成につながります。														
	児童・生徒の参加または体験の形態	コミュニケーション能力、他者へのかかわり方、皆と協力する力を高める表現遊びワークショップを実施させていただきます。それは、鑑賞演目への深い関心や期待感、観ることへの集中力へつながり、心に残る鑑賞体験となります。本番鑑賞後のバックステージツアーで、「八百屋舞台」とその裏側などを見て、舞台そのものを体験してもらいます。														
	児童・生徒の参加可能人数	本公演					参加・体験人数目安		300人							
							鑑賞人数目安		300人							
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	演目：「南の丘の大きな切りかぶ」 美術：井上知也 衣裳：中矢恵子					作・演出：佃典彦 照明プラン：児玉道久・福井孝子 音響プラン：藤田赤目										
	公演時間	90	分													
出演者	魔女のおばさん(エリザベス)：内藤美佐子 アーちゃん：竹内桃香 郵便屋さん：廣瀬達也 黒子：youu-ji															
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	佃典彦 劇作家・演出家・俳優 様々なジャンルで活躍し、忙しく全国を飛び回っている。第4回読売演劇大賞優秀作品賞「KAN－KAN」 第6回日本劇作家協会優秀新人戯曲賞「精肉工場のミスターケチャップ」 第50回岸田國土戯曲賞「ぬけがら」 2006年愛知県芸術文化選奨文化賞〈個人演劇〉 他、作品、個人多数受賞 内藤美佐子 劇団創立当初からほぼすべての公演にかかわり、現在は劇団代表。少女から老婆・人ならぬものまで、何でもこなし、観るものを納得させる抜群の演技力は、外部からの出演依頼も多く精力的に活躍している。また若手の指導・育成にも励んでいる。 2001年芸術創造賞(名古屋市文化振興事業団) 2018年名古屋演劇ペンクラブ賞 受賞 竹市桃香 小柄で華奢でかわいらしさを併せ持ち、ダンスで培った動きの軽やかさで小学4年生の少女を無理なく自然に演じている。嘘をついた自分に苦しむひたむきなアーちゃんの姿は子どもたちから共感を持って受け入れられている。児童演劇のみならず、多方面への出演も多く舞台経験豊富。 廣瀬達也 新米の迷子になりそうな郵便屋さんを見事に演じ子どもたちの笑いを誘い、役柄と本人の持つ素朴な温かみは人を引き付ける魅力にあふれている。造形美術にも才能を発揮しモザイクアートとも称されるその作品は作品展等に出展されるたび、好評を博している。															
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者： 4 名 スタッフ： 1 名 合 計： 5 名					運搬			積載量： 2 t 車 長： 6.29 m 台 数： 2 台							

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込		無		前日仕込所要時間			時間程度	
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出		
	8:00	8:00～11:30		13:00～14:20	0分	14:35～15:50	16時00分		
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。								
本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月		7月		8月		9月		
	5日		5日		5日		5日		
	10月		11月		12月		1月		
	5日		5日		5日		5日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		40日		
本公演・ワークショップの内容	<div><div></div><div></div><div></div><div>大きな切りかぶとおばさんが住んでいる小さな家のある丘</div></div>								
	<div><div><div>りんごを三等分するには…？</div></div><div></div><div></div><div>スープの味付けはサンバのリズムで！！</div><div>さあ、召し上がれ！！</div></div>								
	<div><div></div><div>ごめんなさい。 僕が悪いんです。</div><div></div><div>ちがう！何がいけないかちゃんとわかってた！！</div></div>								
	<div><div></div><div>さあ！今日も楽しいこうかね…</div><div></div></div>								
	著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当なし		該当コンテンツ名			
		該当事項がある場合	権利者名			許諾確認状況			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通

No.3-①(実演芸術)

別添	なし
----	----

【公演団体名

演劇人冒険舎

】

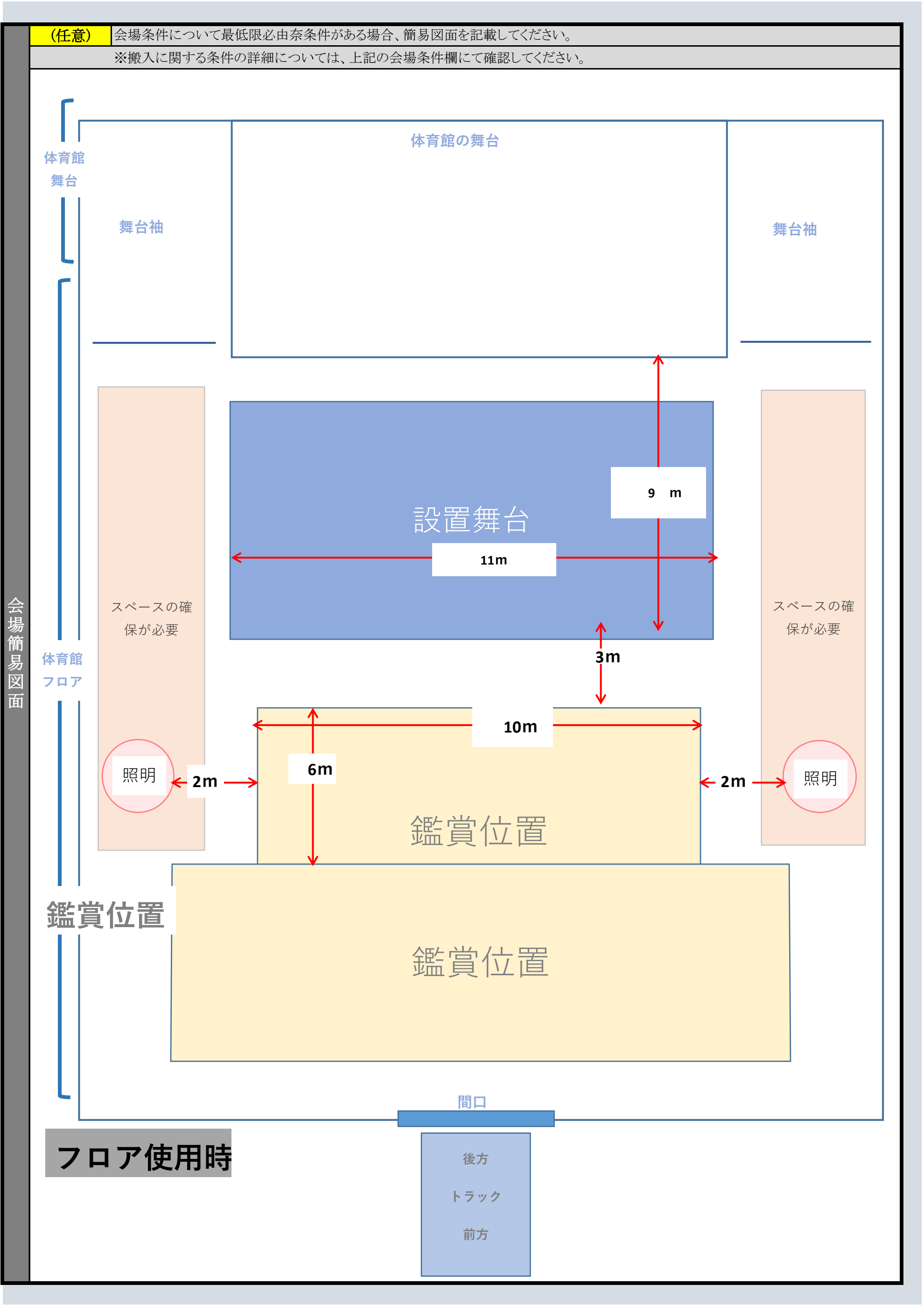
ワークショップの内容

ワークショップのねらい	<p>演劇要素を取り入れたゲームや遊びを通して、自身の声や身体で表現し、楽しさ、面白さ、自由さを体験してみることで想像(創造)力・表現力が培われます。そこにはいつもと違った自分自身や周りの友だちが現れるかもしれません。新たな発見は驚きと喜びの中で、互いに理解し認めあうことを知り、新しいコミュニケーションが生まれます。楽しく参加し、みんなで協力して考え表現することは、自己肯定感を高めると共にコミュニケーション能力の向上につながり、自主的に行動する力を養うきっかけになります。心が解放され素直に感じたままを表現することができるようになることをを目的とします。想像(創造)し、みんなで一緒に表現し演じてみることで、演劇の楽しさを知り、鑑賞への興味と期待が膨らみ、演劇鑑賞がより深く楽しいものとなります。心で観て感じて、想像力を膨らませることは他を尊敬する心、思いやりの心を育みます。公演後のバックステージ体験は、子どもたちが積極的にしかかわることで、鑑賞中の“不思議”な思いをすべて解消することができます。また丘のような八百屋舞台を全員に体験していただくことで、本公演の振り返りとして深く心に残る体験とします。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	～300人
ワークショップ実施形態及び内容	<p>【標準:90分】 3人の指導者が学校へ直接指導に伺います。</p> <p>・挨拶と声出し 準備運動を兼ねて、声の出し方、口の開き方を指導します。</p> <p>・グループ分けー子どもたちを3つのグループに分けます。 Aグループ-1、2年生 Bグループ-3、4年生 Cグループ-5、6年生 A、B、C それぞれのグループごとに演劇要素を取り入れたゲームや遊びをします。</p> <p>・コミュニケーション能力を育むゲーム 言葉をつなぐ。前の人から順に文章を伝言していきます。相手を見て、早く正確に伝えます。ただ単に文章を伝えようとしてもうまくいきません。ゲームをするうちに、それぞれの表情や言葉にこもった感情で、より正確に早く伝えられることを学びます。</p> <p>・想像することを楽しむゲーム 表現をつなぐ。言葉なしの表現を伝え回します。グループごとに輪になり、何かをしているところを言葉を使わず、身体の表現だけで隣に回していきます。補助者が人数を見計らって違ったお題を別の子どもに伝えます。一つの輪の中にいくつかの表現が回ることになります。想像力が高まり、新たな発見と表現することの楽しさに、心と身体が解放され、柔軟な考え方や表現が生まれます。</p> <p>・「楽しかった」という経験は将来の観客を育み、演じることやスタッフの仕事への関心につながり、他者を思いやる心にも通じると考えワークショップが楽しく豊かな時間となるよう工夫します。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	全校児童数が300名以上の場合、実施場所や実施時間を分散したり、参加人数などについてご相談させていただきます。		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
本公演						

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1	児童数が多い場合等、体育館の条件が合えば本舞台の反対側に上演用の仮設舞台を設置し、体育館のフロアーと本舞台を客席として利用することがあります。	
	2		
	3		



別添	なし
----	----

【公演団体名	演劇人冒険舎	】
--------	--------	---

本事業への応募理由等	本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫	【本事業を通じて実現したいこと】
		様々な要因によって観劇の機会や学芸会などの表現活動の場が減少しています。子どもたちにとって疑似体験の機会はとても重要と思われます。劇中の登場人物の感情や状況を自分に重ね合わせ日常では体験できないことを追体験することで感情表現を豊かにし想像力、共感力を育みます。一緒に観たり体験した友だちとの感情の共有を確かめたりその時の思いを共有することは、考える力を育み、コミュニケーション能力を豊かにします。演劇の魅力を、公演とワークショップ、終演後の交流によって子どもたちに届ける機会とします。ワークショップへの参加、演劇鑑賞の体験が一人一人の心に「楽しかった」という一点の灯となり、明日を生きる夢や勇気のよりどころとなるよう後押しできたらと思います。
		【上記の実現に向けて、実施の工夫】
		〈本公演〉 フロアで実施しますので子どもたちが間近で楽しめ、後方の児童もストレスなく劇に集中できるよう客席に段差をつけるなどの工夫をします。 〈ワークショップ〉 学年差なく全児童が体験でき、表現することの楽しさ自由さに気付けるよう導きます。 〈バックステージ体験〉 全員が参加し、「ふしぎ!! どうなってるの?」の疑問を質問形式に回答しながら進行し、鑑賞したすべての児童に、舞台を体験していただきます。
本事業への応募理由等	事業を適切かつ円滑に実施するための工夫	【学校との連絡調整について】
		〈事業を効果的かつ円滑に実施するために〉 公演日を安心して迎えていただくために ・実施校のご担当の先生初め、校長・教頭先生へ迅速に連絡を取ります。電話やメールなど都合のよい連絡方法を選んでいただき、学校の状況など伺いながら公演日程等の調整をさせていただきます。 ・楽しく参加していただくため、打合せは念入りにさせていただきます。ワークショップの日程と共にその学校に合わせたやり方など先生方と一緒に考え工夫します。ご担当の先生が変わった場合にも進捗状況をしっかりお伝えし再確認させていただきます。 ・ワークショップや本公演実施前の再確認など学校との連絡は密にします。 ワークショップの訪問時に会場を下見し、公演時間、舞台設営位置、客席づくりについて詳しく打ち合わせし、図面にしてお渡しします。 〈楽しい体験とするために〉 本事業の趣旨や実施内容に関して、丁寧に説明しご理解いただいたうえで、学校と協力して進めていきます。学校の状況や児童生徒の様子などを確認させていただきながら、出来る限り先生方に負担かけないよう実施体制を整え、一人一人の楽しく貴重な体験となるよう臨機応変に対応します。
		【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】
		事前に実施校の状況や意向などを確認します。 〈特別な配慮が必要な児童について〉 光や大きな音、いつもと違った場所(劇場になった体育館)等、苦手な児童がいる場合。舞台装置が整った頃、一度会場へ入ってもらい、どの程度の光や音が出るのか、いつもとどのように違っているのか等、先生と一緒に確認してもらいます。事前に知っておくことで、楽しく観られる場合も多くあります。その他、何らかの配慮を必要とされる児童についても、先生方と相談しながら、無理なく楽しい時間となるよう工夫します。
本事業への応募理由等	事業を適切かつ円滑に実施するための工夫	【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】
		〈継続的な学び〉 本企画内の表現遊び(ワークショップ)を希望される学校のご担当の先生へ段階的にワークをご紹介します。子どもたちにとって自身が声や身体を使って表現することの楽しさに気づき、生き生きと前向きな学校生活を送れるよう後押ししたいと考えています。